なお、貸借対照表に計上されている長期未払金の主な内容はリース債務であり、企業会計基準適用指針第19号金融商品の時価等の開示に関する適用指針（平成20年３月10日企業会計基準委員会）第24項ただし書きにより、金融商品会計基準等の適用にあたり重要性が乏しいと認め、時価の注記を省略しております。

（注１）金融商品の時価の算定方法

⑴　投資有価証券及び有価証券

これらの時価について、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

⑵　現金及び預金、並びに⑶　未収附属病院収入

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。なお、未収附属病院収入については、担保又は保証による回収見込額等により、時価を算定しております。

⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金、並びに⑸　長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しております。

⑹　未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

７．重要な債務負担行為

（単位：千円）

件　　名	契約済額	平成22年度以降支出予定額	平成21年度支出額
（医病）病棟・母子センター棟改修（Ⅱ期）工事	739,725	453,747	285,978
（医病）病棟・母子センター棟改修（Ⅱ期）電気設備工事	644,490	366,366	278,124
（医病）病棟・母子センター棟改修（Ⅱ期）機械設備工事	1,148,175	693,199	454,975
（亥鼻）医薬系総合研究棟（Ⅱ期）新営その他工事	996,975	598,185	398,790
（亥鼻）医薬系総合研究棟（Ⅱ期）新営その他電気設備工事	168,000	100,800	67,200
（亥鼻）医薬系総合研究棟（Ⅱ期）新営その他機械設備工事	497,595	308,070	189,525
放射線治療システム　一式	773,850	773,850	—

８．重要な後発事象

該当事項はありません。

附　属　明　細　書

１　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第83　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	38,007,894	1,317,476	4,176	39,321,194	11,585,157	1,710,614	—	—	—	27,736,036	
	構築物	1,538,071	48,385	3,400	1,583,057	845,647	84,602	—	—	—	737,409	
	工具器具備品	2,288,774	786,692	35,440	3,040,026	2,138,521	98,216	—	—	—	901,504	
	船舶	9,220	—	370	8,850	6,033	520	—	—	—	2,816	
	車両運搬具	979	—	—	979	424	195	—	—	—	555	
	計	41,844,939	2,152,554	43,387	43,954,107	14,575,785	1,894,150	—	—	—	29,378,322	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	19,249,481	2,370,902	—	21,620,383	4,352,256	1,058,027	—	—	—	17,268,126	㈱2
	構築物	646,697	146,684	—	793,381	240,460	48,295	—	—	—	552,921	
	工具器具備品	13,271,629	4,021,648	262,697	17,030,580	9,102,098	2,395,589	—	—	—	7,928,482	㈱2
	図書	5,399,367	52,441	69,897	5,381,911	—	—	—	—	—	5,381,911	
	車両運搬具	34,784	11,752	—	46,537	31,354	2,351	—	—	—	15,183	
	計	38,601,961	6,603,428	332,594	44,872,794	13,726,169	3,504,264	—	—	—	31,146,625	